

堤擧セリノハ罷業ノ準備ノ爲也ト

三、大正十四年二月及三月中ニ於テ住友派労働者團體多數ノ設立ヲ見タリ(前項参照)

四、大正十四年三月五日及三月九日、兩日ニ亘リ住友派ト組合派トノ労働者ノ衝突事件アリ、後者ニアリテハ組合側ニ名住友派三名負傷シ刑事問題ヲ惹起セリ、午後此等事例漸ク多シ

五、コレヨリ先労働総同盟大阪聯合會ニ於テハ予テ別子労働組合主幹者トシテ同地ニ派遣セル鈴木悦次郎ヨリ三月四日事件突發シタル故ヲ以テ即時來援方ノ入電アリタルニ付聯合會ハ不取敢大失有ニシ五日全地ニ派遣シタルニ九日ニ至リ大失ヨリ会社側ニ於テハ全カヲ是テテ組合員ノ脱退ヲ從認シテ

背セザル者ニ對シテハ極端ナル圧迫ヲ試ミ到處ニ儘ニハステオカレズ最善手段ハ同盟罷業、決行ニ由ラスイテ具体化スルヤモ知レストノコトナルヨリ聯合會ノ激怒一方向テズ幾多ノ犠牲ヲ種々漸ク今日ノ會勢ヲ得ルニ至リタルヲ万一會社側ノ切山相ニヨリテ解散ヲ見シカ總同盟盟トシテノ重大問題ナリト稱シ対策協議スルコト、ナレルガ山内鉄吉ハ全銅山ノ同盟罷業ヲ敢行シ激甚察力ノ薄弱ナルニ乘シアラユル抗爭手段ヲ用ヒ別子ノ天地ヲ震撼シ労働組合ノ勝利ヲ収メサルベカラズト敢闘キ、タルモ大多數ハ總同盟大會終了後大會勢カヲソノママ別子銅山ニ移シ全國的激力ヲ以テ臨ムヲ得策ナリトスル方針ヲ定メタリ

六、三月十七日労働総同盟幹部蘇生久山内鉄吉